

第6回 鬼鬼クイズ～おうちで鬼博～ 答えと解説

鬼鬼祭特別企画!
第6回 鬼鬼クイズ～おうちで鬼博～

Q.酒吞童子退治で知られる源頼光たちには、ほかにも様々なエピソードが伝えられているよ!下記のエピソードをもつ人物は、A～Fの中の誰なのか分かるかな?

1. ・盗賊・袴垂に狙われる。
・国府宮津に丹後守として着任。

2. ・山姥に育てられる。
・斧で仏像を彫ったことがある。

A.源頼光 B.藤原保昌 C.渡辺綱
D.坂田金時 E.碓井貞光 F.卜部季武

鬼メモ
世界鬼学会では毎年、鬼検定が行われているよ!鬼検定の過去問は日本の鬼の交流博物館HPでダウンロードできるから是非チャレンジしてみよう!



【答え】

1. B. 藤原保昌 2. D. 坂田金時

【解説】

B. 藤原保昌 (958～1036)

平安時代の貴族。藤原道長・頼道に仕える。各地の国司を歴任し、長元年間(1028～36)には、丹後守となる。妻は和泉式部。

『今昔物語集』には、盗人の頭領・袴垂と保昌が出会った話が記されている。ある夜、袴垂が着るものを奪おうと道を歩いていると、笛を吹きながらゆっくりと歩く保昌に出会った。襲いかかろうとするものの保昌にまったく隙がなく、そのうち段々と恐ろしくなってきた、そのまま保昌の屋敷までついていってしまい、そこで保昌が袴垂に着物を与えた、という話である。また、藤原保昌には保輔という盗賊の実弟がおり、この弟と盗賊・袴垂が同一視されることもある。

D. 坂田金時 (公時)

幼名の金太郎が有名。伝説上の人物とされる。足柄峠で源頼光らに見出され、酒吞童子退治に加わる。静岡県小山町は金太郎生誕の地といわれる。福知山市天座の大歳神社には、坂田金時が斧で彫ったとされる大日如来が祀られている。

A. 源頼光 (948～1021)

平安時代の武将。藤原道長に仕える。頼光四天王とともに様々な鬼退治・妖怪退治の主人公として知られる。『平家物語』では、病で寝ていたところを山蜘蛛に襲われ、『太平記』では、母に化けた牛鬼と戦ったという物語がある。また、浄瑠璃『丑御前の御本地』では、鬼と化した弟、丑御前との戦いが描かれている。

C. 渡辺綱 (953～1025)

平安時代の武将。源頼光に仕え、頼光四天王の筆頭として知られる。『平家物語』等には、一条戻り橋で鬼女に出会い愛宕山に連れ去られそうになったところ、鬼の腕を斬り落とし難を逃れたという話がある。『前太平記』や『御伽草子』では、羅生門で茨木童子と戦って童子の腕を斬り落とし持ち帰るが、身内に化けた童子に腕を取り返される話がある。

E. 碓井貞光 (954?～1021)

平安時代の武将。頼光四天王の一人。上野国の碓氷峠付近の生まれとされ、碓氷峠に棲む大蛇を十一面観音菩薩の加護を受け退治した伝説がある。『今昔物語集』に登場する「平貞道」と同一人物とみられる。

F. 卜部季武 (950～1022)

平安時代の武将。頼光四天王の一人。『今昔物語集』に登場する「平季武」と同一人物とみられる。同書には、卜部季武（平季武）が産女という妖怪に出会った物語がある。

『今昔物語集』には、D. 坂田金時（公時）とE. 碓井貞光（平貞道）、F. 卜部季武（平季武）が賀茂神社の祭礼見物に牛車で出かけ、ひどく車酔いした話が収録されている。